

# 京交山岳部報

## 今月のテーマ《スキーと温泉》

〔第1826回例会〕 ★★  
京入道「恐入道」  
(△628.7,点名篠原)

日時 3月10日(日)  
集合 AM8:00 壬生  
コース 京都-和知-大倉…京入道…大倉-京都  
担当者 古市昌三(☎589 管財課)  
岡田茂久(☎698 京都高速)  
備考 マイカー山行、9日までに申込  
装備 ストック、わかん、アイゼン  
地図 和知(1/2.5万)

〔第1827回例会〕 ★★★  
大渚山スキー登山

日時 3月22日(金)~24日(土)  
集合 九条車庫22日PM8:00出発  
コース 東IC-糸魚川IC-小谷温泉(泊)…大山(△1566)往路下山  
担当者 大槻雅弘(☎544 職員課)  
備考 テント泊の用意必要  
一日は近くのゲレンデでスキーをします。小谷温泉は露天風呂です。

〔第1828回例会〕 ★  
童仙房(三ヶ岳)~笠置山  
~海住山寺

(”親分”こと近藤薫元山岳部長 傘寿記念登山)  
日時 3月31日(日)  
集合 九条車庫 AM8:00  
コース 京都-宇治-和束-三国越林道-童仙房…(三ヶ岳)…童仙房-笠置…笠置山-海住山寺-山城町-京都  
担当者 津田 実(☎874 協力会)  
奥村 弘信(☎791-7450)  
岡田 茂久(☎698 京都高速)  
方山 宗子(☎760 工事課)  
申込25日まで。マイカー山行です。

記念品  
集計考  
備考

3月30日に近藤薫元山岳部長はめでたく傘寿を迎えられます。記念品を贈りますので賛同者は20日までに方山さんに500円を。

### 今月の集会(総会)

日時 3月11日(月)PM6:30  
場所 ハウス竹田

### 企画運営委員会

日時 3月19日(火)PM6:30  
場所 厚生会館4F大教室



## 割 り 箸 談 義

岡 田 茂 久

終電に乗り遅れてしまい、午前5時過ぎに大阪の町を歩く羽目になってしまったことがある。華やかな夜と違い早朝の町はわびしい。せめて始発の電車には乗らねばと、すっきりしない頭を抱えて急いでいると、驚いたことに大きな風船が町のあちこちに転がっているではないか。近寄ってみると大きなビニール袋で、中を透かして見るとそれは使用済みの割り箸の山であった。

私が見たのはたった一夜のほんの一つの街の一週であったが、全国的にみればどれだけの数の割り箸が消費されているのであろうか。一昨年日本の割り箸の生産量は輸入品も含んで、240億本にも及ぶという。市場は400億円ともいわれるが、このうち約半分は中国、インドネシア、韓国、フィリピン等の外国からの輸入品である。

昔はこの使用済みの割り箸も、町の風呂屋さんの焚き付けとして重宝され、二度のお勤めもしたらしいが、今はもう風呂屋さんの数も減り、あっても燃料は重油となって殆どはゴミとして処理されているのが現状である。最近、地球環境への関心が集まり森林保護の声も高まるなかで、割り箸の使用の論議が世間に喧しいのも、こんな風景を見るとむべなるかなとも思う。

ところが、国産の割り箸の材料は、桑、栗、椿、南天、柳等の特殊品は別にしても、杉、檜を使用する高級品から、赤松、エゾ松等の普及品も、日本の主要な割り箸生産地である吉野地方や、広島、北海道では建築材や家具等に利用出来ない間伐材や、端材を使用しており、日本の木材の消費量全体から見ると0.4%にすぎないという。又、輸入品も熱帯雨林の乱伐から問題になっているが、これとても南洋材伐採量全体の0.03%にしか充当しないということである。こんな数字から森林乱伐とは無縁で、割り箸冤罪論がでてくるところであるが、あの使用済みの割り箸の山を見ると、割り切れない感じがすることも確かである。こんなところから最近竹製の割り箸が話題にのぼっているが、いずれにせよ使い捨てにするかぎり、もったいないの感がぬぐえないのは生来の貧乏性のせいだろうか。

世界人口の30%を占める世界三大食法である「はし食」は、古代神話の時代から日本の食文化を支えてきた。弘法大師は「箸を使うもの全てを救わん」と衆生済度を説き、箸置き、箸袋、箸箱等の日本独特の食文化を発展させてきた箸は、いくら我々の生活が洋風化し、箸の正しい持ち方を知らない若者が増えてきたとはいえど、今後とも絶えるとは思えない。しかし、割り箸問題を放置するかぎり、いつか日本の「はし食」は「ナイフ、フォーク食」に淘汰されないとも限らないのではないだろうか。西洋の人達は自分専用のナイフ、フォークを持つという考えは無く、日本人だけが自分の箸に愛着を持ち他人の箸と区別してきた。このへんで日本の食文化の原点に帰り、家の外でも自分の箸を持つことに回帰してはどうだろう。

私もプラスチックの箸ではどうも馴染めなかったものだが、昨年の夏山の帰りに戸隠神社で南天

の箸を買求め、今ではいつもウエストバックの中に携えて愛用している。もうテントの中で「割り箸！割り箸！」と叫ばなくなって久しい。

〔第1821回例会〕

## 船山・位山スキー登山

大槻雅弘

1月12日 船山

岐阜百山を意識してから、ポチポチ登っているが年に3～4山のペースでは、伊吹山から始まり笈ヶ岳まで120山を完登するには30年かかる。

初めて足を踏み入れたのは、1961年3月冠山であった。この記録は、日本山書の会吉田寛治氏編「奥美濃山座別文献目録」にも載っており私の初めての奥美濃山行でもあり、又雪の山でもあった。それから今日まで、今回の船山、位山で64山目。やっと、折り返し点にきた感じである。その気で登れば、昨年65山登ってるのだから、ぎふ百山ばかり集中するとなると、1～2年で何んとかなるだろうが、今までのペースでは足の弱るまでに登れるやら危ぶまれる。ともあれ、毎年意識しているので今年はスキーで登れる所はないかと思って選んだのがこの山であった。

明けやらぬ京の町を後に、高速道中津川I・CからR257号に入り、下呂を経て久々野町舟山高原スキー場へ4時間30分で着いた。

信州のあの賑やかさはなく、やはり、ぎふ百山らしい田舎のスキー場という感じのゲレンデである。勿論、リフトは待ち時間なしで乗れた。「一番高い所のリフトも動いていますヨ」と、いう言葉信じて最終のリフト乗り場へと着くと「故障で動きません」これもやはり田舎の良さか。今日は楽に登り、後はゲレンデで遊ぶという計画が狂ってしまった。

止むなく、そこからラッセルすること1時間で最終リフト降り場まで一汗かいた。目の前に反射板のある頂が見えているが、ラッセルと急登で腹時計も鳴り、先に昼食を摂ってから登ることにした。

食事後、誰も歩いていない雪面のゆるやかなコブを一つ越えると1ピッチで船山頂上へ出た。出たと言っても、山に登ったという感激はなく、船山山頂と書かれた導標のあるアンテナ反射板の横のただ雪一面の広場の真中で、「ここが三角点や」と決めつけ、座り込んだのである。

腰程の深さの雪、冷気が体を包む中、それでも例によって冷い缶ビールでカンパイをした。

1月13日 位山

位山三山。即ち、位山、船山、川上岳カオレとあり、伝説歴史の古い山である。山名由来は「この山の主である宿禰すくなが仁徳天皇を即位させた。その時、アララギの木で作った笏シヤクを献上した。天皇は即位後、このアララギの木に一位の位を贈り、この山を位山と命名した」という。（ぎふ百山より）

その由緒ある山麓で、大宴会と大合唱で一夜は明けた。

テントを後に一本、リフトを乗ってすぐそこから、シールをきかせてスタートした。祭壇坂を、

2・3回くねくねと登ると見晴のよい太奈山。ここは、1本立てるのに最高の場所であった。全員、1人1人が、ポーズを決めて写真を撮る。

太奈山からは、大木の樹林帯に入り、少し雪も深くなる。心配していたルートは、切り開きもありそのうえ適当に目印もあって案ずることはなかった。

7人が2交替ほどラッセルした頃、雪を避けて大木の下で休憩した。岐阜の3人パーティが登って来て「毎年登っているが、初めてラッセルしてあり助かりました」と。先にそのまま進むのかと思えば休憩をして、一向に先行しようとしな。結局我々が先に出発しラッセルすることになった。

樹々に積った雪をみて、東山魁夷の絵の、あの青い色調に、うっすらと細い枝に乗った雪を想い浮かべ歩く。まったく同じだ。画家の自然を見る目を感心しながら、ラストから耳真を撮りつつ進む。そんなことを想っている内に、巨石のある岩戸平に着いた。

高度計は、頂上の高さを指している。この辺りが頂上かと思っていたら、あと500mの標識を見る。ほとんど、平坦な距離を進むこと10分で山頂へ出た。

こども、昨日の船山と同じで、平で、広くどこが三角点の場所かさっぱり分からない。やはり、石がないのは淋しく、もの足りないが例によってその真中で、ストックを突き上げ万歳をした。

冷い風が肌を差し、陽は時々射すが雲にかくれている。樹々が、厚く雪を被った山頂は、やはり冬山そのものである。展望台で昼食を撮った後、岩戸平まで戻り、そこからシールを外し一気にゲレンデまで滑り降りた。

〔参加者〕 岡田、三橋、吉田、関本、井戸、岡本、大槻（渡辺、方山、スキーのみ）

〔船山・位山、スキーツアーコースタイム〕

1/12 5:30 京都東I・C-7:50 中津川I・C-9:50 船山スキー場-11:20  
第2リフト-第4リフト11:30（シールで登る）…12:25~55（リフト終点昼食）…  
船山頂上13:14~40 下山-各自スキー滑走

15:40 船山スキー場-16:05 位山スキー場へ移動

1/13 8:45 テント場-8:50 リフト-9:00 リフト終点…9:25 太奈山-位山頂上  
11:20~12:25（昼食）-13:20 スキー場で遊ぶ-15:50 スキー場-17:17  
中津川I・C-21:00 京都東I・C

〔第1822回例会〕

スキー大会

## 野沢温泉「休養」とスキー

1月25日より27日の3日間「スキーと休養」という事で31名の参加をえて、運営する事が出来ました。朝食後温泉と、ゲレンデに各グループに別れ各人心行くまで楽しみ、夜は懇親会で時間の経つのも忘れたほどでした。又、姫路播磨支部石谷さん他22名が26日夜懇親会に参加され交流を深める事が出来ました。『スキーと休養』も、皆様の御協力で事故も無く終える事が出来ました。運営に御協力頂いた皆様に担当者として御礼申し上げます。また無理をお願いして御参加願った方々大変有り難う御座居ました。

尚、この例会で2名の入部希望が有りました。OB光村氏、検車山田氏、  
今後の課題として、山岳部でバスを出して運営するには日程、人員等に無理があると思われます  
ので、十分に時間をかけて判断をお願いしたい。9月中旬までに。

この山行に金壺符、差し入れを頂き紙面を借り厚く御礼申し上げます。

(津田実、鷺見敏一、大槻雅弘、石川かず栄)

[参加者氏名]

岡田茂久、田村正弘、大槻貞従、竹田勉、方山宗子、吉田武、藤林雅信、三橋勉、山田哲也、  
宮川勇、八重子、智子、文、あい、井戸澄夫、和田良一、山口雅直、馬淵拓己、津田実、照子、  
奥村弘信、横井襄二、大倉寛治郎、由喜子、順子、徳田和香、伊東未紀、今井勇一郎、  
渡辺智生、入江好雄、光村弘志、

[個人山行]

## 岩谷山と岩屋観音

坂井久光

今年の干支は羊であるので十二支会では府下の櫃ヶ岳(古名羊岳)を選んで1月12日に兵庫県  
篠山町の国民宿舎に集合して前夜祭を行うとの郵りが会よりあった。それで12日の夕刻迄の時間  
を利用して篠山町の北方の岩谷山(589m)を登って来た。

JR太秦駅発9:45に乗車、園部10:29~11:04JRバスで本篠山12:05着、園  
部で松浦氏と会い挨拶を交し終点で別れ、駅前の喫茶店で昼食をとり、タクシーで登山口の藤岡奥  
の五台山東密寺門前へ。

門傍に寺の縁起が表示してあった。五万分の一の凶の祀の記号のある地点である。開山は笠形寺や  
三岳を開いた法道仙人で、八上城主の波多野秀治公の帰依で栄えたが明智光秀の為全山破壊された  
がその後地元の信者の力で復興して現在に至っている。

参道の石段を上ると最初に右に春日神社の分岐がありその先に不動滝の標示があり石灯籠や不動  
尊の小祀や滝があり、200m毎の表示もあり、阿弥陀堂跡や薬師堂跡等が次々現はれる。阿伽井  
の清水がシシオドシになっている附近で十二支会員の泉州山岳会々長の古稀を迎えた百田治人氏が  
下山して来て聞くと北の宮田川の上流倉本より登って山越えて来たとか、流石会長だけあって少  
しもおとろへていない健脚に敬意を表した。その先で城壁を偲ばす自然石の石組が現れ急は石段を  
登ると新しいお堂や鐘堂が平地に建っていた。その後に岩屋があり法道仙人の石柱が立っていた。  
門より600mで到達したが、ここからは道はなく、後の山へ踏跡を辿った。

すぐ急峻な小谷にルートで標識がついていたが、落葉の積った溝状なすべる様な急坂を木の枝や  
藪の先を手がかりに約20分程強引に登り稜線に出ると小径があり、処々に残雪があった。伐採の  
跡の北側は展望がきき、572m峰や倉本の部落が望見出来、南の藤岡川の方面は雑木林で展望はき  
かない。約10分で山頂の標柱の立つ三等三角点に達した。展望は北側の宮田川流域の田園や黒頭  
峰~三岳の多紀連峰の山々が見えるのみで他の三方は林で視界がきかない。岩谷山の標示が小片に

あった。此の山は兵庫の山々を書かれた多田繁次氏を始め、時々山好きの人が登っているらしい。  
少憩後往路下山、国民宿舎篠山荘迄歩いたが、途中猪の供養碑があった。

## 例会報告

例会№	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
1821	スキー登山 船山・位山	1月12日 ～13日		大槻 雅弘	岡田、三橋、吉田、関本、岡本(義)、井戸、渡辺、方山	別稿詳報
1822	スキー大会 野沢温泉村 スキー場	1月24日 ～28日		大倉寛治郎	岡田、田村、大槻(貞)、竹田、方山、吉田、三橋、宮川F4、井戸、和田、山口、馬淵、津田F1、奥村、横井、大倉F2、今井、渡辺、光村、入江、徳田、伊東、藤林、山田	別稿詳報

## 部員動静

目的地	月日	天候	参加者	記事
岩谷山 岩屋観音	1月12日		坂井 久光	別稿詳報

## 雑報

### ❖ 2月の集会

2月8日(金) 場所 厚生会館4F大教室

出席者 (本局)岡田、方山、和田、井戸

(梅津)吉田 (OB)横井 以上 6名

内容 例会報告、例会予定、その他

### ❖ 山岳遭難共済平成3年度募集

掛金 年間7,920円、最高150万円まで保障

責任期間 H.3.4.1. PM4:00~H.4.4.1. PM4:00

申込締切 3月11日(月) 総会当日までにお金を添えて申込み下さい。(担当 井上)

❖ 他山岳会の会報（受贈分）

1月号 青嶺（京都山の会）

2月号 北山（北山クラブ）、跋涉譜（大阪低山跋涉会）、趣味の登山（京都趣味登山会）  
山友（京都山友会）、京都山岳（京都山岳会）、比良山岳（京都比良山岳会）  
木雞（好山好会）、近畿山行（近畿山行会）、愛宕ニュース（京都愛宕山岳会）

❖ 訂正とお詫び

2月号の山声雪語「ひつじの山」のうち、大阪低山跋涉会の慶佐次盛一氏は大阪低山跋涉会の慶佐次盛一氏の誤りでした。訂正してお詫び致します。

**SINCE 1980**  
**THE LOG CABIN CO.**  
H.HASEGAWA'S SHOP  
FOR ALPINISTS  
KYOTO JAPAN

結婚引出物・内祝・開店記念品・粗品  
仏事用お返し品・お中元・お歳暮用品

贈答品総合センター  
厚生会指定  
**サンコークラフト**  
西島輝雄

左・川端丸太町下る下堤町88  
TEL (075) 771-3442

帆布・濾布  
テント・シート  
雨合羽

**木村工業有限会社**

京都市中京区ミブ車庫前  
TEL 801-5331 (代)

西大路営業所  
下京区西大路七条下ル  
TEL 321-0251

登山とアウトドア専門店  
**今、アウトドア派大集合!!**

●登山用品はもちろん、  
注目のスポーツ  
カヌーをはじめ、  
ひと味違う充実の  
品揃えは必見のもの!!



**ビッグホリイケ**

営業時間 AM10:00~PM9:00 <年中無休>  
京都市中京区御池通高倉西入(千代田生命京都御池ビル2F)  
☎(075)222-0363

京都で唯一の山の専門店

Now Out door sports

ハイキング&キャンプ・クライミング  
アウトドアウェア・US旗出品  
ポータブルソフト用品

**Mountain**

〒604 京都市中京区二条通河原町西入  
TEL 075(258)-0548  
●営業時間 AM10:00-PM8:00 毎週火曜定休  
(株) スポーツ コニシ

●技術とサービスの創る！印刷

株式会社

**北斗プリント社**

タイプ・写植オフセット印刷 ● 電子写真印刷

〒606 京都市左京区下鴨高木町38-2(バス停前)

TEL(075)791-6125(代)

FAX(075)791-7290



建設省国土地理院発行地図販売特約代理店  
国土地理院空中写真(カラー・白黒)取次  
通産省地質調査所発行各種地質図取扱店  
各種地図製作並びに印刷  
地形図は、20万・5万・2万5千とも全国を常備しております。

株式会社 **小林地図専門店**

〒600 京都市下京区<sup>あけず</sup>不明門通六条下る西側  
(烏丸通六条東 1筋目下る) ☎ (075) 351-6598 代

地下鉄：五条駅 5番出口・市バス：烏丸六条下車

平成3年3月1日

京都市中京区壬生坊城町48

京都市交通局内

**京交山岳部**